

平成26年度 岩手県立高田高等学校への支援金について

1971年、全国高等学校バレーボール選抜優勝大会（通称 春高バレー）の決勝で角館南高校と対戦したのをきっかけとし、両校の交流が始まりました。

2011年の東日本大震災では、津波による甚大な被害を受け、校舎もほぼ破壊するなどの大惨事となりました。角館南高校は震災の起こった2011年より、「高田高校への支援活動」として募金活動を毎年実施してきました。

統合校となった今年度も生徒会やインターアクト部を中心にして募金活動を継承し、たくさんの方々から多大なるご協力・ご支援を賜りました。

皆様方のお気持ちを高田高校に届けるべく今年度の活動で集まった募金を「岩手県立高田高校を支援する会」に送金いたしましたのでご報告いたします。

ご協力いただきました皆様方に深く感謝申し上げます。

御礼

先の東日本大震災・津波に際しましては、多大なご支援をいただきました。心から感謝申し上げます。

震災からまもなく四年経つ現在も仮校舎での生活が続いていますが、職員・生徒一丸となって復興への取り組みを進めているところです。

今年度は、部活動では卓球部がソフトテニス部女子個人・卓球部男子シングルス・陸上部（やり投げ）がインターハイに出場しました。また、広島の土砂災害への募金を生徒会が中心となって呼びかけ被災地の支援を行いました。また、一月にはアメリカ合衆国カリフォルニア州のデルノート高校との交流事業を行うなど、生徒は県内外で大いに活躍しています。

昨年の二月には新しい体育館が完成し、部活動で利用できるようになりました。新校舎の建設も始まり、現在基礎工事が行われています。四月の新校舎完成に向けて私たちの希望となっています。

今後とも生徒が高田高校に入学して良かったと思えるよう、教職員一同精一杯努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

平成二十七年 二月

岩手県立高田高等学校

校長 横 田 昭 彦

教職員一同